

家族ふれあい「潮干狩り」 240名が参加しました



主催者代表で挨拶する藤田相双連合議長

相双地域連合と3地区労福協(原町・相馬・双葉)の共催による恒例の「家族ふれあい潮干狩り」は、6月27日(土)相馬市松川浦において晴天のなか組合員の家族を含め240名の参加者があり、楽しい



松川浦での潮干狩り

一日を過ごしました。昨年は、鴨がアサリを食べたということで、やむを得ず中止になり、2年ぶりの開催でした。干潮の時間が13時30分であった為、開始時間は例年より遅く、11時00

分から受付し、藤田相双地域連合議長の挨拶ののち、今回の衆院選予定候補者である「石原洋三郎」さんから



潮干狩り前のミニ集会

挨拶をいただきました。そのあと順次潮干狩りを行い、13時より喜楽荘で、昼食をし、アサ



挨拶する「石原洋三郎」衆院選予定候補者

りの大物賞の表彰、ビンゴゲームを行い、事故もなく終わりました。

日ごろ家族サービスができないお父さんも点数を上げたとおもいます。各地区の役員の皆さん、お世話ありがとうございました。来年も家族みんなで参加してください。



アサリ大物賞で優勝の佐伯咲麗子(さくらこ)ちゃん。



相双地域連合と相馬地区・原町地区・双葉地区の3労福協共催潮干狩り